

第3回（平成26年1月30日実施）

〔 現状報告 〕

- ① 授業アンケート（第2回）について
- ② 学校教育自己診断の結果について
- ③ 今年度を振り返って

〔 質疑・協議事項 〕

- Q. 授業アンケートについて、第1回のスコアの低い教員に管理職としてどう対処したのか？
- A. 複数回の授業見学をおこない、助言をおこなった
- Q. スコアの高い実技系教科で授業力向上への取り組みをしているのか？
- A. 教科内での伝達講習を充実させている
- Q. 初任者から見た河南生とは？
- A. 遊びと学習の切り替えが遅い生徒が多い。周囲に気をつかいすぎる。ケータイ依存も。
- Q. カーディガンの要望が長く続いている。マフラーについても一定の規制が必要ではないか。
- A. 指定のセーターについては教員の合意が得られなかった。生徒との意識差も大きい。
- Q. トイレの改築をすると、学校のイメージが上がる。
- A. 自動点灯や自動水栓も検討している
- Q. 1・2年用の自習室もほしい大学では食堂スペースの早朝活用に着手。PTAでも食堂へのエアコンの寄贈の検討をしていく。
- A. 現在、検討中
- Q. 大学では履修登録段階からパソコンが必需品。黒板もなくなりつつある。教員・生徒ともにICTの活用を進めてほしい。短焦点のプロジェクタは便利である。
- A. 現在、検討中